

主 出 来 事

2018年1～3月

	三重・愛知	全国・海外
1月	<ul style="list-style-type: none"> ●四日市港へ新たに日本-中国(上海)航路が開設。新規航路の第1船である「SITC MANILA」の初入港を記念し、歓迎訪船を実施。(1/17) ●2019年度全国アビリンピック(全国障害者技能競技大会)の開催地が愛知県に決定。2017年度は、栃木県で開催し、22種目365名が参加。(1/25) ●三重大学とロート製薬が、三重県発祥の「本草学」を切り口に共同研究を行うと発表。本草学を新しい健康学として確立することなどが目的。(1/29) 	<ul style="list-style-type: none"> ●少額からの長期・積立・分散投資を支援するための非課税制度である「つみたてNISA」が開始。販売手数料が低い商品などに投資対象を限定。(1月) ●韓国と北朝鮮の閣僚級会談が軍事境界線にある板門店で開催され、北朝鮮の平昌冬季五輪への参加などで合意。南北会談は、約2年ぶり。(1/9) ●仮想通貨大手取引所のコインチェックは、不正アクセスにより580億円分の仮想通貨が外部へ不正送金されたと発表。(1/26)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ●三重大学の国際忍者研究センター(伊賀市)内に事務局を置く「国際忍者学会」が設立。三重大学では、忍者・忍術の研究などを推進。(2/17) ●アクアイグニス・リコー・多気町の3者が、「アクアイグニス多気」における木質バイオマスを活用したエネルギー供給に関する協定を締結。(2/26) ●愛知県と日本郵便は、災害応急対策や高齢者などの見守り、道路の健全な維持、地域の活性化などに連携して取り組む協定を締結。(2/26) 	<ul style="list-style-type: none"> ●宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、衛星用では世界最小級ロケットとなる「SS520」5号機の打ち上げに成功したと発表。(2/3) ●任期満了により退任するイエレン米FRB(連邦準備制度理事会)議長の後任議長にジェローム・パウエル氏が就任。(2/3) ●韓国の平昌で冬季五輪が開催。日本選手団は、冬季五輪で史上最多となるメダル13個を獲得。(2/9～25)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ●三重県営サンアリーナで、ボッチャの国際大会が開催。ボッチャは、「地上のカーリング」とも呼ばれるパラリンピック正式競技。(3/15～22) ●おやつカンパニーの関係会社が、工場一体型のテーマパーク「おやつタウン」を2019年夏に津市で開業すると発表。(3/15) ●東名高速道路守山パーキングエリアに、名古屋市内初のスマートインターチェンジ(スマートIC)となる守山スマートICが開通。(3/24) 	<ul style="list-style-type: none"> ●北朝鮮の金正恩委員長が、早期の米朝首脳会談の実施を要請し、トランプ米大統領は5月までの開催に同意。(3/9) ●政府は、成人年齢を20歳から18歳に引き下げる民法改正案を閣議決定。国会において成立すれば2022年に施行予定。(3/13) ●トランプ米大統領は、安全保障を理由に、鉄鋼に25%、アルミニウムに10%の輸入関税を課す輸入制限措置を発動。(3/23)

2018年4～6月の予定

	三重・愛知	全国・海外
4月 ～ 6月	<p>フォーカス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●四日市港と伊勢湾岸自動車道みえ川越インターチェンジ(IC)を結ぶ臨港道路「霞4号幹線」が開通。(4/1) ●四日市市内の中央緑地フットボール場(3面のうち2面)と、霞ヶ浦テニスコート(16面)がオープン。(5/1、5/25) ●戦争で焼失した名古屋城本丸御殿の復元工事が完了。「上洛殿」や「上御膳所」などが新たに公開される。(6/8) 	<ul style="list-style-type: none"> ●カナダのケベック州シャルルボアで2018年のG7サミットを開催。カナダでのサミット開催は6度目。(6/6～8) ●2018FIFAワールドカップがロシアで開催。開催国のロシアや日本を含む32か国が参加。(6/14～7/15) ●民泊新法といわれる住宅宿泊事業法が施行。同法の届出を行うことなどで、民泊の実施が可能に。(6/15)

フォーカス

四日市港とみえ川越ICを結ぶ臨港道路「霞4号幹線」が開通

4月1日、四日市港とみえ川越ICを結ぶ臨港道路「霞4号幹線」が開通しました。「霞4号幹線」は、総延長4.1kmの片側1車線の道路です。愛称を公募し、四日市港の近代化に貢献した「稲葉^{いなば}三右衛門^{さんえもん}と、臨港道路をイメージした「ポートライン」を組み合わせた「四日市・いなばポートライン」に決定しました。

「四日市・いなばポートライン」の開通により、物流機能の効率化や、国道23号線など周辺道路の混雑緩和や沿道環境の改善が期待できるほか、霞ヶ浦地区へ複数のアクセスルートが実現することで、災害時の代替機能が確保されます。